

徳山大誤審の続報

4月18日の徳山一般戦4日目6Rで発生した世紀の大誤審の続報。

誤審を認めた競走会は、2-1-6-1-5の舟券を的中扱いとするお詫びと賠償金の支払いを発表。期間は5月1日から31日までの1か月間。テレボート会員には振り込みが行われ、紙やキャッシュレスの舟券に対しては、当該舟券がある場合はボートレース場・チケットショップでの支払い。手元に舟券がない場合は、当該施設にて記録情報と照合した上で払い戻しを行った。払い戻しの際



山口広樹

し、特に混乱が起きたなどという情報は入っていない。

また、審判団に対して褒章懲戒審議会を緊急で開催し、当該判定に関わった審判委員長以下6名に対して、最大6か月間の審判業務停止処分を含む懲戒処分が下された。誤った判定を下した要因は、審判委員長と各審判員との連携が取れていなかったこと、最終的な判定を下す際の確認不足だったという。

また、無関係なのに妨害失格と判断された山口広樹に対しては金銭的な補償（準優、優勝戦に乗った体での金額）と妨害失格の取り消しが行われた。山口は初のA2級へ勝負駆けという微妙な立場だったが、次節の若松で勝負駆けを成功させ、無事A2級への初昇格を果たしている。

片岡雅裕が8年半ぶりの失格

5月4日の丸亀GW戦初日12Rドリム戦で片岡雅裕が選手責任外のエンスト失格となった。これが実に16年10月25日平和島の転覆失格（選手責任外）以来、2386走ぶり、期間にして8年半ぶりの失格だった。

記録がはつきりと残っている96年以降で無事故の艇王と言えば中林秀人（引退）が有名。01年1月4日から22年6月26日を最後に引退するまで、4455走連続失格なしを記録した。スタート事故も含めた完全無事故も2749走の記録を残している。



片岡も完全無事故は中林に次ぐ1528走の記録を持っているが、とにかくあらゆる事故が少なく、Fは通算3本。選手責任外の欠場2回、選手責任外の失格は5回、選手責任の失格も5回、妨害は1回。不良航法は3回、待機行動違反は1回しかない。デビューから17年半、4477走してこの少なさ。SGを2勝しているSG常連選手としては本当に考えられない事故の少なさなのだ。

阿波勝哉がF3

4月26日の芦屋一般戦4日目2Rで阿波勝哉が期3本目のFを切った。

前期の阿波は11月24日に宮島で1本目、1月9日の平和島で2本

MACOUR
TOPICS

TOPICS

マクール トピックス



目のFを切り、この芦屋は60日のF休み明け初戦。初日1走目にコンマ01のスタートを切った時は周囲のみんなもドッキリしたが、まさか期末最後の節に3本目のFを切るとは、本人を含め誰も想像していなかったはず。

阿波のF3は12年後期以来、13年ぶりで通算4回目。24年前期はF2だったが、その後の2期はFを切っていなかった。F3になったのは23年後期の出場恒季以来。

伏見俊介が江戸川で1日2本のF

4月24日の江戸川一般戦初日に、地元の伏見俊介が1日2本のFを切った。

1走目は5Rの1号艇でインからコンマ01の勇み足。後半11Rの

表1 1日2本のF(96年以降)

選手名	日時	場とレース
塩田 雄一	2003/1/6	丸亀6・10R
中澤 和志	2005/8/15	戸田4・9R
谷口 誠	2006/4/30	宮島4・11R
大田 直弥	2006/7/3	唐津2・8R
青木 玄太	2008/8/10	びわこ3・11R
田村 勇一	2008/11/24	多摩川1・5R
田頭 実	2019/1/10	大村3・8R
鈴木 雅希	2022/11/10	江戸川2・8R
永井 聖美	2023/7/13	大村4・9R
伏見 俊介	2025/4/24	江戸川5・11R

2号艇は2コースからコンマ04の勇み足。期末最後の節でA2級勝負駆けという状況だったこともあり、気持ちの前に行きすぎたのかもしれない。1日2本のFは即日帰郷。勝率は5・43で終わり、4期ぶりのA2級復帰はならなかった。

1日に2本のFは23年7月13日大村での永井聖美以来、96年以降では10人目。

井上遥妃が女子最速のGII優出

浜田亜理沙の優勝で幕を閉じた常滑レディースオールスターでは、デビューから2年6か月の井上遥妃(131期)が優出。96年以降の女子では鎌倉涼の2年9か月を抜いて最短GII以上優出となった。

井上は2月15日の下関ヴィナスで初優出したばかりで、これが

表2-1 女子レーサーGII以上4年未満での優出(96年以降)

順	選手名	記録	年月・場・タイトル	結果
1	井上 遥妃	2年6か月	25年5月常滑レディースAS	6着
2	鎌倉 涼	2年9か月	10年3月下関レディースC	4着
3	大山 千広	3年4か月	18年9月浜名湖ヤングDB	6着
4	大山 千広	3年6か月	18年11月芦屋レディースCC	4着
5	中村 桃佳	3年6か月	17年11月下関レディースCC	6着
6	横西 奏恵	3年9か月	99年3月尼崎レディースC	優勝
7	本部めぐみ	3年9か月	98年3月三国レディースC	優勝
8	中村 桃佳	3年10か月	18年3月びわこレディースAS	優勝

表2-2 女子レーサーGII以上の3年未満での準優(96年以降)

順	選手名	記録	年月・場・タイトル	結果
1	濱村美鹿子	2年3か月	97年3月蒲郡レディースC	6着
2	井上 遥妃	2年6か月	25年5月常滑レディースAS	2着
3	鎌倉 涼	2年9か月	10年3月下関レディースC	2着
4	中村 桃佳	2年9か月	17年2月鳴門四国地区選	3着
5	大山 千広	2年9か月	18年3月びわこレディースAS	F
6	米丸 乃絵	2年11か月	24年5月宮島レディースAS	F

表2-3 GII以上2年7か月未満での優出(96年以降)

順	選手名	記録	年月・場・タイトル	結果
1	田村 隆信	1年2か月	01年2月鳴門四国地区選	3着
2	石野 貴之	1年8か月	04年1月徳山新鋭王座	5着
3	田村 隆信	1年10か月	01年9月蒲郡周年	6着
4	池田 浩二	2年2か月	00年1月びわこ新鋭王座	2着
5	仲谷 颯仁	2年2か月	17年1月大村MB誕生祭	3着
6	井上 遥妃	2年6か月	25年5月常滑レディースAS	6着
7	笠原 亮	2年6か月	01年12月浜名湖ダイヤモンドC	6着



2回目の優出。優勝すれば艇主・植木通彦さんが持つ23歳6か月の最年少GII制覇の記録を更新できたが結果は6着。女子では横西奏恵さん以来となる初優勝がGII

戸田で新期初日に全艇F

新期に入ったばかりの5月1

以上という快挙も残念ながら逃した。

なお、96年以降の女子のGII以上の予選突破は97年3月蒲郡女子王座決定戦(当時はGII)で濱村美鹿子の2年3か月という記録があり、これに続く2番目。

男子を含めると96年以降では田村隆信が1年2か月で01年2月の鳴門四国ダービーで優出があり、これが最速。96年以前ではレジエンド今村豊さんが1年2か月で優出どころかGI初優勝を達成している。

日、戸田GW戦初日6Rの女子番組で全艇Fが発生した。

浜田亜理沙が6号艇で登場、1号艇には中田夕貴という番組だったが、5コースの原加央理がコンマ06の非常識なF。4888万1900円の売り上げは全て返還となった。

今年の全艇Fは3月2日唐津周年最終日3Rに続く2件目。5艇Fは2月1日多摩川4Rと4月14日大村12Rドリム戦で発生している。戸田での全艇Fは21年5月31日のオールレディース7R以来で約4年ぶり。ここでも原は一員となっていた。

5月1日にFを切ると今期はずっとF持ちで走るようになる。何かとルールが厳しくなる中、相対的なハンデになるのは間違いない。期初めだから控えようとは考えず、どのレースも全力を尽くした結果…とファンにしてみれば好意的にも受け取れる。この集団Fの一員だったが、浜田亜理沙はレディースオールスターを制した。

峰竜太は新期20目にF

5月2日の唐津GW戦4日目11Rで峰竜太がインからコンマ01のFを切った。

峰は非常にFが少ない選手で、24年1月2日の唐津以来、1年4か月ぶりで通算14本目。期初めの5月のFはこれが初めてでもある(11月は過去1本あり)。



F関連のルールに厳しさが増す中、新期20日目のFは相当な足かせになりそう。峰は次節の芦屋一般戦では初日から5連勝するなど11戦7勝(優出4着)だったが、もっとも早いタイミングでコンマ16(4回)で、1回もゼロ台に踏み込んでいない。

なお、弟子の定松勇樹もクラッシュのF休みを消化する前の5月21日に津でF。さらにオールスター12日目11Rではグランデ5に王手をかけていた毒島誠もFを切ってしまった。3選手は徳山オーシヤンカップまであつせんが入っており、その後F休みに。若松メモリアルは不参加が確定した。

勝野竜司が引退

5月は次の3選手が引退した。

勝野竜司(兵庫74期52歳)
平池仁志(香川69期53歳)
横井光弘(長崎71期56歳)

勝野竜司さんは辻栄蔵や守田俊介らと同期で94年5月に尼崎でデビュー。1走目にいきなりF、デビュー期にF2の試練があったが、4期目にはA2級、8期目からはA1級の常連に。03年後期に8・22の自己最高勝率をマークし、06年前期にも8点台の勝率を残したほか、10年には140勝で年間最多勝利のタイトルを獲得。翌11年も124勝で瓜生正義と1位タイだった。同数の場合は勝率上位の選手が上となるルールがあり、2年連続のタイトルを惜しくも逃している。SGには23回出場し、11年住之江GPシリーズ戦を優勝。GIは9回の優出があり05年6月の丸亀MB大賞を制した。



勝野竜司

通算成績は出走回数5787走で勝率6・53、1744勝、優出226回、優勝54回。生涯獲得賞金は約7億974万円。現役最後のレースは昨年11月16日の戸田。18年前期に127走したのを最後に選手の特病ともいえる膝の悪化などに悩まされ、ここ数年間は出走数が極端に減少。19年5月から1年半の長期欠場などもあり、本来の実力を発揮できていなかった。

平池仁志さんは田中信一郎や太田和美ら花の69期の一員で91年11月に丸亀でデビュー。2走目に水神祭をマークし、いきなり予選を突破している。5期目にA級、8期目からはA1級常連になり、自己最高勝率は99年前期の7・54。SGはメモリアルとGP以外のSGに各1回、計7回の出場がある。GIは5回の優出があり、初優出だった99年1月住之江新鋭王座で優勝した。

通算成績は7791走で勝率5・47、1108勝、優出105回、優勝14回。生涯獲得賞金は約7億1217万円。現役最後のレースは5月9日の地元丸亀。

横井光弘さんは深川真二らと同期で92年11月に大村でデビュー。8期ほどA2級昇格があり自己最高勝率は01年後期の5・80。優出は23回あったが優勝なしのまま引退となった。現役最後のレースは1年以上も前で昨年3月21日の浜名湖。地元大村は20年5月のGW戦を最後に走っていない。

高橋二朗が全治2か月の脱臼 選手の負傷情報

初山佳岳Ⅱ5月4日常滑GW戦2日目5Rの1周2マークで操舵不良によりターンマークに接触して失速したところを後続艇が避けられずに接触して負傷。左胸椎T11-13骨折、左肩峰骨折、肩鎖関節脱臼、外傷性血気胸で全治見込みは未定。

高橋二朗Ⅱ5月23日常滑一般戦2日目11Rの2周2マークで操舵不良によりターンマークに接触して失速した際に負傷。左母指1P関節脱臼で全治見込みは2か月程度。



高橋二朗

齊藤大将が周回誤認

4月29日の江戸川GW戦最終日



1Rで、齊藤大将が周回誤認を犯した。

1号艇で登場の齊藤は2周2マークまで3着争いをしていたが、ターン後に5番手で迎えた3周ホームでスリットライン通過後に上体を起こして減速。6番手とは相当な差があったものの、最終バックストレッチで抜かれて6着に後退した。

本人は2周2マークでの接触で右でん部(お尻)の痛みに気を取られて最終周回灯の確認をしていなかったと周回誤認を認めている。

瀬川大地が即刻帰郷処分

5月26日の三国最終日8Rで、瀬川大地が騒擾(そうじょう)を惹起(じゃつき)する可能性のある航

法で即日帰郷となった。

1号艇で出場した瀬川はインからのレース。1周2マーク旋回時点で5番手を航走していたところ、前を走る3、4、5号艇にFコール。この時点で2番手に浮上した。ところがFコールを受けてスロウダウンしたF艇と同じように2周ホームでスロウダウンしてしまい、最下位だった2号艇に抜かれて3着へと降着。2周1マーク手前からレースに復帰したもののすでに時遅し。自分もFと勘違いしたのかもしれない。

この事象は褒賞懲戒の対象となるので、瀬川には数か月の出場処分が下される。

褒賞懲戒の結果

5月16日に開催された褒賞懲戒審議会で次の3選手に出場停止処分が下された。

小林基樹Ⅱ3か月

宇土泰就Ⅱ1か月

太田 潮Ⅱ1か月

小林は2月21日のびわこ最終日4Rに出場後、洗濯室の女性職員に対し不適格な言動があり、選手としての体面を汚し、著しく風紀を乱したと判断された。

宇土は2月8日からの浜名湖で前検遅参。太田は3月9日からの徳山前検日における酒気帯びでの前検不合格。

今月の水神祭

(初勝利)

5月4日 井上慧人(福岡133期)

5月4日 高木茉莉(埼玉134期)

5月22日 西岡蒼志(香川134期)

5月27日 岡崎風汰(長崎135期)

(初優勝)

4月30日 小池礼乃(福岡112期)

5月1日 竹之内極(福岡119期)

小池礼乃が鳴門ヴィーナスで圧巻の初優勝。3日目まで負けなしの6連勝と突っ走り、終わってみれば10戦8勝のピンラッシュ。これまで11回の優出で準優勝は4回あったが、初の優勝戦1号艇をきっちり生かした。山崎郡らの112期では15人目、女子では富樫麗加、千葉真弥、中川りなに続く4人目の優勝者になった。

7回目の優出だった竹之内極は



小池礼乃

表4 ヤングダービー出場権争い

順	登番	選手名	勝率
イースタンヤング優勝者			
ウエスタンヤング優勝者			
3	4914	吉田 裕平	7.81
4	5084	末永 和也	7.42
5	4932	新開 航	7.23
6	5121	定松 勇樹	7.16
7	4959	井上 忠政	7.12
8	5191	飛田 江己	7.03
9	5017	澤田 尚也	6.96
10	5043	中村 日向	6.92
11	4963	實森 美祐	6.89
12	5142	常住 蓮	6.87
13	4856	豊田 健士郎	6.87
14	5042	畑田 汰一	6.87
15	4961	西橋 奈未	6.79
16	5015	高橋 竜矢	6.76
17	4985	井本 昌也	6.75
18	5075	中島 秀治	6.71
19	5068	前田 滉	6.70
20	5112	砂長 知輝	6.64
21	5174	川井 萌	6.60
22	4980	佐々木 完太	6.60
23	4857	加藤 翔馬	6.56
24	5224	西岡 顕心	6.53
25	5058	前原 大道	6.53
26	4960	黒野 元基	6.47
27	5136	濱野 斗馬	6.46
28	5163	清水 愛海	6.46
29	5034	若林 義仁	6.41
30	5197	中野 仁照	6.41
31	4983	前田 篤哉	6.37
32	5088	高憧 四季	6.35
33	4933	板橋 侑我	6.35
34	5089	前田 翔	6.31
35	5016	宮田 龍馬	6.29
36	4967	中村 魁生	6.18
37	4930	佐藤 悠	6.16
38	4934	佐々木 翔斗	6.15
39	4931	木谷 賢太	6.14
40	4884	勝浦 真帆	6.14
41	4991	宗行 治哉	6.12
42	4989	石原 翼	6.12
43	5002	上田 健太	6.11
44	5125	高井 雄基	6.10
45	5087	佐藤 航	6.09
46	5132	中野 希一	6.07
47	5256	中山 翔太	6.07
48	5221	竹間 隆晟	6.05
49	5161	登玉 隼平	6.04
50	5145	島川 海輝	6.04
51	5166	仲道 大輔	6.03
52	5126	山下 大輝	6.01
53	5226	藤田 俊祐	6.00
54	5220	青木 蓮	6.00
55	5018	竹下 大樹	5.99
56	4910	中村 泰平	5.99
57	5129	山口真喜子	5.95
58	5196	鱧部 太空海	5.94
59	5029	中 亮太	5.91
60	5257	西丸 侑太朗	5.89
61	5228	若林 樹蘭	5.83
62	5134	大原 祥昌	5.83
63	4994	山本 梨菜	5.82
64	5278	田中 駿兵	5.81
65	5104	山田 文	5.79
66	5111	三村 岳人	5.78
67	5010	宇留田 翔平	5.78
68	5205	刑部 亜里紗	5.77
69	5158	宮脇 遼太	5.75
70	5012	加倉 侑征	5.72

締め切りの関係で丸亀オールの
ターの結果を含まないランキング

獲得賞金ランキング

強いられる。

蒲郡で3コースからのまくり差
し。4日間の短期決戦で予選1号
艇なしのハンデを乗り越え2号艇
で優出。前付けを入れて3コース
を選択したことも正解で丸野一樹
のイン戦を撃破。井上忠政らの1
19期では14人目の優勝者。
初勝利の水神祭は4人。井上慧
人は芦屋GW戦で4コースから抜
きで勝ち、3連単は12万円台の大
穴を提供。高木菜白はびわこオー
ルレディースで2艇Fによる恵ま
れ勝ち。西岡蒼志は地元丸亀で4
コースからの差し勝ち。岡崎風汰
は児島の6コースからまくり差し
で突き抜けた。4期目に入った1
33期の未勝利選手は5人。13
4期は西岡が13人目で未勝利選手
は12人まで減った。2期目の13
5期は岡崎がまだ3人目と苦戦を

上位に名前がある選手のうち、
藤原碧生と宮之原輝紀はFの罰則

9月23日の宮島で開幕するヤ
ングダービーの選考締め切りは今月
いっぱい。

ヤングダービー選考順位

の分、上位陣に大きな変動はない
ものの、オールスター前に一般戦
で3連続優勝の茅原悠紀は僅差だ
った3位の宮地元輝にかんりの差
を付けた。クラシック準優勝の後、
一般戦しか走っていない塩田北斗
もかなり稼いで先月の11位から7
位へと順位を上げた。桐生マス
ターズC制覇の森高一真は19位まで
ジャンプアップした。
女子は平高奈菜がトップをキ
プし、常滑レディースオールスタ
ー制覇の浜田亜理沙が2位へと浮
上。川井萌、細川裕子、関野文ら
優出組も順位を上げてきた。平
場の女子戦、混合戦が続く守屋美
穂の5月は大村ヴィーナズで優勝
し、3位の好位置をキープ中。

表3-2 女子獲得賞金ベスト30

順	選手名	獲得賞金額
1	平高 奈菜	30,772,065
2	浜田 亜理沙	21,852,000
3	守屋 美穂	20,616,532
4	遠藤 エミ	20,416,332
5	川井 萌	18,405,089
6	川野 芽唯	17,913,000
7	渡邊 優美	16,513,000
8	細川 裕子	16,404,813
9	三浦 永理	16,380,546
10	實森 美祐	15,111,066
11	海野 ゆかり	14,971,000
12	寺田 千恵	14,864,000
13	宇野 弥生	14,841,066
14	西橋 奈未	14,290,666
15	岩崎 芳美	14,063,000
16	関野 文	13,933,000
17	清埜 翔子	13,424,000
18	山川 美由紀	13,001,733
19	小野 生奈	12,915,000
20	山口 真喜子	12,902,000
21	田口 節子	12,865,200
22	長嶋 万記	12,650,813
23	勝浦 真帆	12,391,066
24	大瀧 明日香	12,044,479
25	山田 理央	11,947,000
26	今井 裕梨	11,739,226
27	鎌倉 涼	11,644,466
28	高憧 四季	11,341,999
29	山本 梨菜	11,289,666
30	中川 りな	11,255,000

表3-1 獲得賞金ベスト30

順	選手名	獲得賞金額
1	佐藤 隆太郎	65,932,533
2	茅原 悠紀	54,704,000
3	宮地 元輝	48,063,466
4	毒島 誠	45,143,000
5	池田 浩二	39,098,533
6	上條 暢嵩	38,713,666
7	塩田 北斗	36,568,854
8	磯部 誠	36,468,546
9	菅 章哉	35,778,733
10	石渡 鉄兵	34,804,000
11	馬場 貴也	34,497,000
12	桐生 順平	34,071,666
13	山田 康二	34,024,000
14	井口 佳典	33,581,756
15	土屋 智則	31,356,000
16	末永 和也	31,207,666
17	山口 剛	30,862,666
18	平高 奈菜	30,772,065
19	森高 一真	30,228,466
20	新田 雄史	30,188,837
21	渡邊 和将	29,372,000
22	福田 浩二	28,611,000
23	西山 貴浩	27,772,466
24	平本 真之	27,685,546
25	上野 真之介	27,295,632
26	仲谷 颯仁	27,129,000
27	吉川 元浩	26,329,000
28	湯川 浩司	26,178,966
29	中野 次郎	26,157,166
30	原田 幸哉	26,037,000

規定で選考除外。原田才一郎と入
海馨は褒賞懲戒にかかったので選
考除外。大澤風葵、石本裕武、大
場恒季は事故率オーバーで除外と
なっている。
選考率トップは吉田裕平でド
リーム戦1号艇は確定的。SG覇
者の定松勇樹やGI覇者の末永和

也、新開航らもしっかり上位にい
る。
地元広島勢は實森美祐、高橋竜
矢、宗行治哉の3人が圏内で大原
祥昌が勝負駆け。女子は實森以外
に西橋奈未、川井萌、清水愛海、
高憧四季、勝浦真帆が圏内で山口
真喜子が勝負駆け。